

# 第6学年外国語科学習指導案

2020年10月1日(木) 6校時

学習者 6年1組33名

指導者 HRT 松田 未恵

JTE 志村 留美

ALT Levi Malcolm

<p>単元名</p> <p>NEW HORIZON Elementary English Course Unit 5 「We all live on the Earth.」 (第6学年)</p>	<p>関係する内容のまとめ</p> <p>「話すこと[発表]」 ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。</p> <p>「書くこと」 ア 大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。</p>
---	--

## 1. 単元について

### (1) 単元観

本単元では生き物の住む場所、食べるものなどを考えながら、地球に住む生き物のつながりについて英語を使って考えていく。4年では、総合的な学習の時間で四万十川の生物について学習をしている。また、6年理科では食物連鎖についての学習も行っているため、児童にとっては身近な教材といえる。使用する語句や表現も生き物の名前や～live in～.～eat～など簡単なものである。そこで、今までに学習してきたI can～. I want to～や気持ちを表す表現を使い、これからの自分にできることなどを宣言していく単元ゴールを設定する。昨今、地球温暖化など環境問題に関する話題が多く取り上げられている。今年7月には、買い物袋の有料化が始まり1学期の国語科「インターネットの投稿を読み比べよう」で、児童どうして議論し合った。そこで、日本の環境問題だけにとどまらず、ALTの国の様子等もSmall Talk等で話してもらいながら、世界にも目を向けることでさらに児童の視野を広げていけると考える。地球環境について考えることは私たち地球に住む一員としてとても大切である。本単元は、外国語科だけでなく、他教科との関連をよりつなげていくことで児童の思考が深まると考えられるため図書館やインターネット等の活用も仕組んでいく。

### (2) 児童観

5月に行った外国語教育意識調査では、「外国語の授業は、楽しい。」肯定的評価94%、「外国語活動の授業の内容を理解している。」肯定的評価100%、「英語は大切だと思う。」肯定的評価100%、「英語が好きだ。」肯定的評価87%の項目において高評価が出ていることから英語に対して興味・関心が高いことがわかる。しかし、「英語で自分のことや意見を発表することが楽しい。」肯定的評価65%とアンケート項目の中では、一番低い結果となっている。そこで、1学期の学習では、四万十市のALTと英語だけでコミュニケーションをとれるようになるという目標を立て、単元ごとに学習を重ねていった。ALTと英語だけで話すという課題は英語を苦手としている児童には少し、ハードルが高すぎたかもしれないが、

振り返りでは、「はじめは、緊張したが慣れてくると楽しかった。」「2学期もまたチャレンジしてみたい。」等の肯定的な感想が多く見られた。しかし、英語の表現が単語のみになっていたり、聞かれたことには答えるが、そこから会話が続かなかつたり等、会話を続けるための技能に課題があった。

### (3) 指導観

1、2時間目は生き物の言い方、住む場所、何を食べるのかなどについて学習していく。Small talk を活用し、児童から出てきた言葉や表現を大事にしながら語彙を増やしていきたいと考えている。その際、会話を楽しくしたり、続けたりしていくための方法等も掲示し可視化を行う。また、絵本「Bark Georg's」の読み聞かせを行い日本語と英語の動物の鳴き声の違いに気付き、音声のおもしろさにも触れたい。

3、4時間目に環境についての問題提起を行い、単元ゴールを児童とともに設定する。単元ゴールを学習のはじめに仕組まず、途中で問題提起という形で導入することで児童の興味・関心が持続し、学習意欲を高めることにつながると考えたからである。また、児童と本単元でつきたい力（言葉・コミュニケーション）を共有する。つきたい力や単元の計画については、掲示し常に学習の見通しや振り返りができるようにしておく。まずは、教科書の中にも記載されているウミガメがビニル袋を食べる資料をもとに、～eat～.の関係を提示し、児童の疑問を生む。四万十市には、アメリカ、イギリス、オーストラリア出身のALT がおり、それぞれの国の環境問題を伝えてもらうことで児童の意識も高くなると考える。児童の必要に応じて、インターネットや図書の活用等を行い学習の幅も広げていきたい。

単元ゴールでは学んだことをポスター等にし、ポスターセッションの形で発表する活動を設定している。本学級には一人で表現することが苦手な児童もいるため、グループで協力しながら学習を進めていく。グループでの振り返り等も行いながらできるようになったことを評価し合い、自信をつけていってほしいと考える。また、国語科で学んだ資料のまとめ方、発表の仕方等に関連させながら外国活動における言語活動の育成にも努めていきたい。

## 2. 単元の目標

地球に暮らす生き物どうしのつながりについて考えたことを相手に伝えるために、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。また、文字には音があることに気付くとともに、アルファベットの大文字・小文字で書くことができる。※なお、本単元における「書くこと」については目標に向けて指導は行うが、本単元内で記録に残す評価は行わない。

### 3. 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと・発表	<p>&lt;知識&gt;生き物や自然、体などの言い方、Where do ~live? ~live in ~. What do ~ eat? ~ eat ~.の表現や答え方について理解している。</p> <p>&lt;技能&gt;生き物や自然、体などの言い方、Where do ~live? ~live in ~. What do ~ eat? ~ eat ~.などを用いて、考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。</p>	地球に暮らす生き物どうしのつながりについて考えたことを伝えるために、生き物や自然について、簡単な語句や基本的な表現を用いて自分の気持ちや考えなどを話している。	地球に暮らす生き物どうしのつながりについて考えたことを伝えるために、生き物や自然について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の気持ちや考えなどを話そうとしている。

### 4. 単元の指導と評価計画（全8時間）

時	目標◆・活動○【】	評価			
		知 技	思 判 表	態 度	
1	<p>◆生き物を表す語やどこに住んでいるのかという表現について知る。また、アルファベットの文字を活字体で書くことができる。</p> <p>○Small Talk What animal do you like? 【Word Link】PD の P12. 13 動物 ・PD で学習した動物がどこに住んでいるのか考え、PD の P12. 13 の自然の言い方を知る。 ○動物が住んでいる場所について話す。 【Let's Sing】We all live together. ○絵本「Bark Georg's」を聞く。 【Sounds and Letters】</p>				<p>○生き物や自然についての語句、Where do ~live? ~live in ~. の表現を用いてどこに住んでいるかを尋ねたり答えたりしている。 ★本時では、目標に向けて指導を行うが、記録に残す評価はしない。</p>
2	<p>◆海の生き物を表す語や何を食べているのかという表現について知る。また、アルファベットの文字を活字体で書くことができる。</p> <p>【Let's Sing】We all live together. ○Small Talk What sea animal do you like? 【Word Link】PD の P13 海の生き物 ・海の生き物の単語を復習する。 What do sea turtles eat?</p>				<p>○海の生き物や体などの語句、Where do ~live? ~live in ~. What do ~ eat? ~ eat ~.の表現を用いて何を食べているかを尋ねたり答えたりしている。 ★本時では、目標に向けて指導を行うが、記録に残す評価はしない。</p>

	<p>【Let's Listen②】</p> <p>・音声を聞き、「暮らしている生き物」と「食べているもの」を聞き取る。</p> <p>【Let's Chant】 Sea turtle, sea turtle, where do you live?</p> <p>【Sounds and Letters】</p>			
3	<p>◆どんな生き物が何を食べるのか、フードチェーンカードを使って尋ねたり答えたりすることができる。また、語順についても知る。</p>			
	<p>【Let's Sing】 We all live together.</p> <p>【Let's Chant】 Sea turtle, sea turtle, where do you live?</p> <p>○Small Talk</p> <p>Where do ~live? What do~eat?</p> <p>【Let's Try③】</p> <p>・どんな生き物が何を食べるのか絵カードを置きながら考える。</p> <p>・語順に気付く。</p>			<p>○生き物や自然、体などの語句、Where do ~live? ~live in ~. What do ~ eat? ~ eat ~.の表現を用いて、生き物の住んでいる場所や食べ物のことを尋ねたり答えたりしている。。</p> <p>★本時では、目標に向けて指導を行うが、記録に残す評価はしない。</p>
4	<p>◆ALT の国の生き物や環境問題についてのまとまりのある話を聞いて、具体的な情報を聞き取ったり、自分の考えや気持ちを話したりできる。また、本時の単元ゴールを理解するとともに、アルファベットの文字を活字体で書くことができる。</p>			
	<p>【Let's Sing】 We all live together.</p> <p>【Let's Chant】 Sea turtle, sea turtle, where do you live?</p> <p>○Small Talk</p> <p>Where do ~ live? What do ~ eat?</p> <p>【Let's Listen③】</p> <p>・音声を聞き、紙面に番号を書く。</p> <p>○ALT（アメリカ）の国の生き物や環境についての話を聞き、世界の環境問題について考える。</p> <p>・本単元の単元ゴールやつきたい力を確認する。</p> <p>【Sounds and Letters】</p>			<p>○ALT の国の生き物や環境問題についてのまとまりのある話を聞いて、具体的な情報を聞き取ったり、自分の考えや気持ちを話したりしている。</p> <p>★本時では、目標に向けて指導を行うが、記録に残す評価はしない。</p>
5	<p>◆地球に暮らす生き物の住んでいる場所や食べ物などについてのクイズを作成し、尋ねたり答えたりしている。</p>			
	<p>【Let's Sing】 We all live together.</p> <p>【Let's Chant】 Sea turtle, sea turtle, where do you live?</p>	発		<p>◎生き物や自然、体などの語句、Where do ~live? ~live in ~. What do ~ eat? ~ eat ~.の表現を用いて、クイ</p>

<p>○Small Talk</p> <p>How do you feel?</p> <p>○どんな生き物がどこに住み、何を食べるのかクイズで出し合う。</p> <p>○ALT（オーストラリア）の国の生き物や環境についての話を聞き、世界の環境問題について考える。</p>			<p>ズを作成し、尋ねたり答えたりしている。〈行動観察〉</p> <p>・児童が生き物のことについてクイズを出し合っている様子を観察し評価に残す。</p>
<p>6 ◆絶滅危惧種など環境について考え、自分たちの考えや気持ち、自分たちにできることを話したり聞いたりできる。</p> <p>【Let's Sing】 We all live together.</p> <p>【Let's Chant】 Sea turtle, sea turtle, where do you live?</p> <p>【Do you know?】</p> <p>・絶滅危惧種について知る。</p> <p>○これまで学習したことをもとに自分たちの考えや伝えたいことをグループで話し合ったり、ポスター等の作成をしたりする。</p> <p>○自分たちにできることを話す。</p>			<p>○絶滅危惧種など環境について考え、自分たちの考えや気持ち、自分たちにできることを話したり聞いたりしている。</p> <p>★本時では、目標に向けて指導を行うが、記録に残す評価はしない。</p>
<p>7 ◆地球に暮らす生き物どうしのつながりや、自分たちにできることを相手に伝えるように、自分の考えや気持ちなどを話すことができる。また、アルファベットの文字を活字体で書くことができる。</p> <p>【Let's Sing】 We all live together.</p> <p>【Let's Chant】 Sea turtle, sea turtle, where do you live?</p> <p>○ポスターセッションに向けて準備をする。</p> <p>・自分たちが一番伝えたいことをグループで考えながら整理する。</p> <p>【Sounds and Letters】</p> <p>・これまで学習した音を復習する。</p>		<p>発 発</p>	<p>第8時と合わせて行う。</p> <p>「話すこと（発表）」の記録に残す</p> <p>...</p> <p>◎地球に暮らす生き物どうしのつながりや、自分たちにできることを相手に伝えるように、伝えようとする内容を整理した上で、自分たちの考えや気持ちなどを話している。〈行動観察〉</p> <p>◎地球に暮らす生き物どうしのつながりや、自分たちにできることを相手に伝えるように、伝えようとする内容を整理した上で、自分たちの考えや気持ちなどを話そうとしている。〈行動観察〉</p> <p>★本時では、目標に向けて指導を行うが、記録に残す評価はしない。</p>

8	<p>◆地球に暮らす生き物どうしのつながりや、わたしたちにできることについて考えたことを相手に伝わるように、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなど伝えることができる。</p> <p>【Let's Sing】 We all live together. 【Let's Chant】 Sea turtle, sea turtle, where do you live?</p> <p>○ポスターセッションを行い、調べて分かったことや自分たちにできることを発表する。 ○本単元の振り返りをする。</p>		発	発	<p>第7時と合わせて行う。 「話すこと（発表）」の記録に残す</p> <p>◎地球に暮らす生き物どうしのつながりや、自分たちにできることを相手に伝わるように、伝えようとする内容を整理した上で、自分たちの考えや気持ちなどを話している。〈行動観察〉 ◎地球に暮らす生き物どうしのつながりや、自分たちにできることを相手に伝わるように、伝えようとする内容を整理した上で、自分たちの考えや気持ちなどを話そうとしている。〈行動観察〉</p>
---	---	--	---	---	---

5. 本時の学習（1／8）

- (1) 本時のねらい 生き物を表す語や、どこに住んでいるのかという表現について知る。また、アルファベットの文字を活字体で書くことができる。
- (2) 評価基準 生き物や自然などについての語句、Where do ~live? ~live in ~. の表現を用いてどこに住んでいるかを尋ねたり答えたりしている。（本時では、目標に向けて指導を行うが、記録に残す評価はしない。）

(3) 本時の展開

	児童の活動	HRT・ALT・JTE の活動	*指導上の留意点 ◎評価の観点 △準備物
3分	<p>○日直が中心になり、挨拶をする。 Attention! Are you ready? Yes! Let's start! Yes! Let's start!</p>	<p>・児童の中に入り、一緒に挨拶をする。 (ALT・JTE) ・日直が挨拶の仕方に不安を感じているときは、側で声をかけながら、挨拶をする。 (HRT)</p>	<p>*教師も児童と共に声を出すことで楽しい雰囲気作りを行う。</p>

3 7 分	○Small Talk をする。	・ Small Talk の内容を提案する。	<p>* 前時の単元で学習した語句を使用しながら本時の活動の内容に近づけられるようにする。</p> <p>△動物園の拡大図 △動物の絵カード</p> <p>* 横ペア、縦ペア、斜めペアで talk をした後、自由にペアを作りさせる。</p> <p>* Small Talk を児童と行いながら本時のめあてにせまっていく。</p> <p>△場所の絵カード</p> <p>* 好きな動物など児童が表現したい動物</p>
	<div style="border: 1px dotted black; padding: 5px;"> <p>H: Did you enjoy your summer vacation? Ss: Yes! H: Where did you go? S1: I went to the sea. S2: I went to the river. J: I went to the zoo. H: Nice! Do you like the zoo? Do you want to go there? Ss: Yes! (動物園の拡大図を提示する。) H: Look! The gudo zoo! I like monkeys . They are cute. Do you like monkeys? A: No, I don't. H: What animal do you like? A: I like zebras. They are cool. (児童に向けて) What animal do you like? S4: I like snakes. H: Let's talk about animals.</p> </div>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5人の友だちと交流することを告げる。</li> <li>・ 言いたかったが、言えなかったことがないか共有する。</li> </ul>	
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>J: I have a question. H: What? J: Where do monkeys live? H: Ummm. (児童に向けて困った様子を見せる。) Ss: 動物園! H: That right. Some monkeys live in the zoo! J: I see. But where do other monkeys? Ss: アマゾン? 山の中? J: they live in the mountains.</p> </div>			
○本時のめあてを確認する。			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>生き物の名前や生き物がどこに住んでいるかを言ってみよう。</p> </div>			
<p><b>【Activity1】</b> ○自分の好きな生き物になり、住んでいる場所を友達と尋ね合う。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生き物の名前、住んでいる場所の言い方の確認をする。</li> </ul>	

<p>5分</p>	<p>○【Let's Sing】 We all live together.</p> <p>○絵本の読み聞かせを聞く。</p> <p>【Sounds and Letters】</p> <p>○本時の振り返りをする。 Attention! Yes! Let's finish! Yes! Let's finish!</p>	<p>・デモンストレーションをする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>J: I'm a lion. H: Where do you live? J: I live in the savanna.</p> </div> <p>・児童と一緒に歌う。</p> <p>・動物の鳴き声 (ALT)、地の文 (JTE) 児童への問いかけ (HRT) の役割分担を行い、読み聞かせをする。</p> <p>・読み聞かせで登場した動物の first letter を使って音読みと名称読みを伝える。</p> <p>・本時の感想を聞く。</p> <p>・児童同士のコミュニケーションについて (HRT)、言語活動について (ALT・JTE) が感想を言う。</p>	<p>を選ばせる。</p> <p>* Activity1 で使った I'm～. I live in～. は意識させながら歌わせる。</p> <p>* 児童が楽しみながら聞けるよう、指導者が表現豊かに読む。</p> <p>◎生き物や自然についての語句、Where do～ live? ～ live in～. の表現や答え方について理解している。(本時では、目標に向けての指導は行うが、記録に残す評価はしない。)</p> <p>* 児童が楽しみながら聞けるよう、指導者が表現豊かに読む。</p> <p>* 児童の意欲を高める評価を行うようにする。</p>
-----------	--	---	---



(4) 板書計画

Today's goal 生き物の名前や生き物が住んでいる場所の言い方を知ろう。

動物の  
絵カード

動物の  
絵カード

動物の  
絵カード

場所の  
絵カード

動物の  
絵カード

動物の  
絵カード

I'm

Where do you live?

場所の  
絵カード

動物の  
絵カード

動物の  
絵カード

I live in

場所の  
絵カード

場所の  
絵カード